

しずく

No.
125

2023.4

●編集●
広報広聴常任委員会
●発行●
岩手県雫石町議会

議会だより



●今号の主な内容

特集 令和5年度予算ここに注目②

3月定例会会…8

町政を問う

一般質問 12議員が質問…11

委員会レポート…20

ふるさとへの便り(91)…23

●今号の表紙／なかよしシリーズ②

「わたしたち3きょうだい」…24

特集

令和5年度予算 ここに注目

加藤 議長



予算は全て血税だ。
用途の隅々まで
眼を光らす



徳田 議員

少子化対策に
向けた若者向け
住宅用地の整備促進



岡本 議員

生涯スポーツ
事業計画に期待

富山 議員



全国規模の
アーチェリー大会
の早期開催を

金子 議員



学校給食費
保護者負担金
10%増



古舘 議員

活発な交流に期待
富士市友好都市
10周年

坂井 議員



多面的機能
支払交付金の
有効活用



幅 議員

体育施設使用料
いわて栗石アー
チェリーセンター、
命名権で収入増を

注 目



堂前議員

銀河ステーション
指定管理の交流
創出拡大に期待



西田議員

子どもと
お年寄りに
もつと予算を



横手議員

子ども子育て
支援事業の充実



大村議員

ガンバレ
企業誘致



坂下議員

栗石銀河ステーション
指定管理料
3025万8千円

令和5年度予算

ここに



岩持議員

住民票等コンビニ
交付サービス導入
業務



上野議員

計画の実効性と
無駄な予算が
無いかの視点で
審査しました



杉澤議員

(有)川井林業
新工場建設の
波及効果に期待

次のページは
令和5年度 予算特集

令和5年度 予算特集

令和5年度予算特別委員会（大村昭東委員長、岡本忠美副委員長）は、令和5年3月13日から4日間で行われ、一般会計他9会計について活発な議論が交わされました。
ここでは、栗石町第三次総合計画に基づく施策大綱について、各委員から出された重点事業等の質疑を特集として取り上げました。

学びを通して 生きがいを感じるまち 《教育》

教 【岩持委員】 国際交流事業は、子どもたちへの支援のほかに、引き受けていただく町国際交流協会へ支援する必要があるのでは。

答 【生涯学習スポーツ課長】 協会の運営そのものへは補助金交付はできないが、子どもたちの国際交流事業が連携して行えるよう、必要なものには積極的に支援していく。

教 【徳田委員】 小中学校に配備したタブレット端末を活用し、子どもたちが将来、犯罪などをおこさないよう、授業開始や終了時の短時間でも法教育を取り入れてはどうか。

答 【教育長】 来年度の校長会などで、道徳の時間や日々の朝会や帰りの会など短い時間を有効に活用し、子どもたちに法教育も行うように各学校に周知していきたい。



全国大会の早期誘致を望む「いわて栗石アーチェリーセンター」

教 【畠山委員】 いわて栗石アーチェリーセンターで全国大会規模の大会の開催は可能か。

答 【生涯学習スポーツ課長】 全日本選手権や国体規模になると、選手だけでも約200人から400人になる。全国大会規模の開催の場合は

アーチェリーセンターのほか、町陸上競技場や篤宿運動場なども併用して開催することは可能である。

教 【堂前委員】 歴史民俗資料館について、資料の一部を旧西根小学校に保管しているが、保管だけでなく展示して見学できるようにしてはどうか。

答 【生涯学習スポーツ課長】 旧西根小学校の建物の用途変更などが必要になるが、保管に限らず展示見学できるよう、今後検討していく。

教 【幅委員】 ヤングケアラ―調査は教育委員会だけではなく、総合福祉課や子ども子育て支援室などが連携し、広範的に調査する必要があるのではないか。

答 【教育次長】 教育、福祉、子育て併せて子ども一人ひとりの置かれている状況などを包括的に調査していくよう、今後、要保護児童対策協議会と連携を取り、検討していく。

教 【金子委員】 小中学校給食費保護者負担金の増額の根拠は。

答 【教育次長】 町は小中学校給食費の2分の1を助成しているが、最近の食材費、燃料費の高騰を受け、給食を作る際の経費が高くなっている。令和5年度は保護者負担金の10パーセント増をお願いしたい。



物価高騰の影響を受けている学校給食

いきいきと ともに幸せを 感じるまち 《保健・医療・福祉》

保 【杉澤委員】病後児保育事業委託料について、県内でも町が先進的に行っている事業であるが、昨年度より130万円程減額になっている。保護者からのニーズはあると思うが減額の理由は。

答 【子ども子育て支援室長】七ツ森保育園に事業を委託しているが、これまでの実績や国の基準額も考慮し積算した金額となっている。



病後児保育も担う七ツ森保育園

保 【坂井委員】節目総合健康診査は一度に多くの受診ができて、受診率も高い。5年ごとではなく2、3年の短い期間で受診できるようにしてはどうか。

答 【健康子育て課長】近隣市町村の状況や国の情報等を踏まえ、今後検討していきたい。

保 【横手委員】子育て支援デジタルガイドブックの改訂版はどのような改訂をするのか。

答 【子ども子育て支援室長】令和4年度に設置した子ども家庭総合支援拠点や、出産子育て応援給付金など、最新の支援策に改める内容となっている。



安心の子育てを支援するガイドブック

保 【岡本委員】生涯健康プロジェクトフィットネス事業で栄養面

の指導などは行っているか。

答 【生涯学習スポーツ課長】関連したプロジェクトの中で食生活や生活習慣などを指導している。

保 【若持委員】新型コロナウイルス感染症予防接種事業は令和5年度の予防接種は、どのようになるのか。

答 【健康子育て課長】国から示されたのは、国民ひとり1回、秋冬に接種とのこと。高齢者と基礎疾患がある方及び高齢者施設の従事者、医療従事者はその前に接種するというところで、今後、国の状況を見て、必要な場合は補正予算で対応させていただく。

笑顔を通じて豊かさを実感し 笑顔で稼ぐまち 《産業》

産 【古館委員】道の駅栗石あねっこに足湯が設置されることにより利用者が増加すると見込まれるが、駐車場の整備も必要ではないか。



ますます魅力が増す道の駅栗石あねっこ

答 【観光商工課長】昨年度、ドックグラウンドも整備し、利用者の増加が見込まれる。今回の設置工事と併せて現在の駐車方法を変更する設計業務委託も計上している。

産 【上野委員】栗石銀河ステーションの指定管理予定者は、具体的にどのように運営していくのか。

答 【観光商工課長】1階の観光物産センターは、しずくいし観光協会と連携しながら実施し、レストラン部分はパン、2階はコーヒー販売などを予定している。また、駅南口でのイベントの開催なども自主事業で計画していると聞いている。

産 【西田委員】電気柵設置事業費補助金は耐用年数が過ぎたものに対し、改めて補助はできないか。

答 【農林課長】平成27年から事業を開始し、これまで176件設置してきたが、町内の農家戸数、約1300戸の13・5パーセントとまだ少ない状況である。あと数年は1回限りとしたい。

産 【岩持委員】住民票等コンビニ交付サービス導入業務委託料は役場の窓口で支払う手数料と同じ金額か。

答 【町民課長】利用者が支払う手数料は同じ300円だが、コンビニエンスストアに117円、地方公共団体情報システム機構に180円の手数料で、町の収入は実質3円となる。

産 【横手委員】観光商工戦略アドバイザー業務委託料は企業誘致戦略策定に向けた業務委託とのことだが、具体的にどのような内容か。

答 【観光商工課長】観光戦略として国道46号のアウトドア観光推進への出席や助言、商工戦略として企業誘致活動への出席や助言などを委託している。また、企業誘致戦略策定に係る調査や素案の作成を委託するもの。

産 【坂井委員】多面的機能支払交付金は国からの交付率が年々下

がっている。活動組織も今年度、何に取組むか、継続するかの判断が難しい状況になっているが、どのように考えているか。

答 【農林課長】令和4年度、活動的改良の計画額に対して、国からの交付金が49・3パーセントと年々下がってきている。町としては草刈りや水路清掃等の資源向上（共同活動）人件費に関しては単価が決められているので、その予算を活用しながら事業を進めていただきたい。

産 【杉澤委員】町が誘致した製材業社が新しく工場を建設することだが、内容はどのようなものか。

答 【農林課長】製材業社と県が直接事業申請、内容を協議してい

豊かで誇れる自然を守り育て 子どもたちにつないでいくまち《環境》

環 【岩持委員】地球温暖化対策実行計画基礎調査業務委託料の内容は。

答 【環境対策室長】町全域の温室効果ガスをどのように減少させていくか、まずは基礎的な数値を調査、計算し、現状を把握した上で、実効性

るので、確定したあと詳しい情報が入る。現時点では1日の生産能力が今の600立方メートルから900立方メートルにアップし、新工場建設後に、今ある工場内の機械等を撤去し、木材保管庫に使用すると聞いている。



新工場の建設が進む(有)川井林業

のある計画にしようとするもの。

環 【堂前委員】資源不足、資源高騰の中、資源物集団回収は協力していたく団体をさらに広げ、リサイクル率を上げる取り組みが必要ではないか。



資源回収に欠かせないストックヤード

答 【環境対策室長】自治会や地区子ども会、学校単位で取り組んでいた。今後さらに広げるために助成制度などを周知し、参加団体を増やしていきたい。

環 【畠山委員】七ツ森森林公園階段補修工事の内容は。

答 【農林課長】令和元年から毎年100段程度、森林環境譲与税を活用し整備している。あと数年、順次必要な箇所を整備していく。

みんながつながって 安全に住めるまち 《安全・安心》

安 【古館委員】 消防団員確保に向け、地域自治会、自主防災組織から推薦されて入団した団員は何名か。

答 【防災課長】 本年度消防団員確保のため、各自治会から1人あたり3万円、2人だと5万円、3人以上7万円の報奨金制度を導入し、6自治会から9名の方に入団していただいた。今後も団員確保に向け取り組んでいく。



新規団員募集は喫緊の課題

安 【横手委員】 消防施設費に第1分団第1部・第2部屯所のエアコン設置工事があるが、ほかにエアコンが設置されていない屯所はあるか。

答 【防災課長】 新しく建てた屯所には設置されているが、古い屯所にはまだ設置していない屯所もある。

る。今後、屯所を新設の際は当然だが、まずは幹部会議等を行うような屯所は率先して設置していく。

安 【金子委員】 水害対策事業について、豪雨などで道路が寸断されることを想定した備蓄や発電機の配備などの状況は。

答 【防災課長】 備蓄については主に役場倉庫に保管し、旧大村小学校、旧橋場小学校にも若干配備している。令和5年度は御明神、御所、西山、各公民館に若干配備する予定である。発電機については、経費や燃料保管の安全性などから、現在、各自主防災組織に配備している発電機を活用していただきたい。

☆総括・歳入全般

総括 【上野委員】 入湯税はこれまでコロナ禍で入り込み客も減少し、最盛時の半分以下となっている。令和5年度予算4800万円を計上しているが、積算の根拠は。

答 【税務課長】 令和4年度の最終見込みとして、令和3年度と比

較し13.5パーセントと回復傾向にある。令和5年度についてはコロナ禍前の7割程と見込んでいる。

総括 【横手委員】 新高前田町営住宅の建て替えを含め、若者向け住宅用地の整備をどう考えるか。

答 【地域整備課長】 新高前田住宅は老朽化により、退去した部屋は入居させていない状況である。今の少子高齢化の中、町営住宅の在り方を含めた町の住宅政策をどのようにして行くか来年度も検討していく。

総括 【幅委員】 鶯宿温泉スポーツエリアについてネーミングライツ（命名権の売却）は検討したか。

答 【生涯学習スポーツ課長】 鶯宿温泉スポーツエリア振興計画で検討することとしている。町でも初めての事例のため、関係部署と協議しながら進めていきたい。

総括 【古館委員】 令和5年度は町と富士市が災害時相互応援協定、友好都市提携を締結し10年の節目の年となる。予算案にも記念の行事等、計上されているが、まだ町民の中にも知らない人が多いと思われる。さらに友好関係を深めていただきたいと思うがどうか。

答 【総務課長】 令和5年度の富士市との交流事業として、これま

でも行っていた小学生の交流、消防団員の交流、富士市産業まつりへの出店、道の駅での富士市写真展、合同での羽田空港への出店、さらに富士市長と町長との記念対談を予定している。今後、様々な機会の中で連携を深めていきたい。



復活する富士市との交流

「安心して暮らせる」まちづくり

住者を中心とする移住定住や結婚・出産・子育て支援を推進

● 人口減少・少子高齢化や地域の活性化への重点的な取り組み

● アウトドア観光や

● 鶯宿温泉スポーツエリアの振興

● 昇瀬橋の架け替え12月新橋開通

● 令和5年度予算

● 総額17億8843万1千円を審査・可決



12月の開通が待たれる新昇瀬橋

令和5年3月定例会は、2月28日から3月20日までの21日間の会期で行われました。

本定例会では、報告1件、条例の制定及び一部改正10件、補正予算10件、当初予算10件、同意1件、議員発議1件、その他6件を審議しました。

令和5年度予算特別委員会（委員長：大村昭東、副委員長：岡本忠美）は、10件の当初予算を審議し、全て原案通り可決しました。

一般質問は、12人の議員が登壇し、町民のために適切な町政運営が行われているか、町当局の考えをただしました。

令和5年度当初予算

会計名	予算額（対前年比）
一般会計	108億2,000万円 (5億8,000万円増)
国民健康保険特別会計	17億2,000万円 (4,000万円減)
御明神財産区特別会計	1,355万2千円 (938万2千円増)
簡易水道事業特別会計	1,397万7千円 (19万円増)
介護保険特別勘定特別会計	20億6,922万5千円 (1,000万2千円増)
介護保険介護サービス事業勘定特別会計	1,068万7千円 (9万5千円増)
雫石町立雫石診療所特別会計	3億8,841万6千円 (1,247万9千円増)
後期高齢者医療特別会計	2億600万円 (400万円増)
水道事業会計	7億1,735万8千円 (1,243万1千円減)
下水道事業会計	12億2,921万6千円 (1億1,734万7千円減)
合計	171億8,843万1千円 (4億4,637万円増)

「ここ」が変わる

栗石町鶯宿温泉スポーツエリア拠点施設条例を制定

栗石町鶯宿温泉スポーツエリア拠点施設の鶯宿温泉スポーツセンター、いわて栗石アーチェリーセンターの設置や使用料等の管理運営を定めることになりました。

いわて栗石アーチェリーセンターの使用料

区分	単位	使用料			
		午前9時から午後5時まで	午後5時から午後9時まで		
射場	施設占用使用	1時間	1,200円	1,800円	
	レーン占用使用 (1区画ごとに)	一般	1時間	400円	600円
		高校生以下	1時間	200円	300円
	個人使用	一般	1時間	100円	150円
		高校生以下	1時間	50円	70円
会議室・ミーティングルーム		1時間	300円	450円	

栗石町国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の支給額が令和5年4月1日より42万円から50万円に引き上げることになりました。

出産・子育て応援給付事業の実施

妊婦等の孤立感・不安感を解消するため、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援及び経済的支援(妊娠届出時5万円、出生届出時5万円)を実施し、切れ目のない包括的支援の提供体制を整備することになりました。

主な質疑

Q 「上野議員」 鶯宿温泉スポーツエリア拠点施設の名称を分かりやすくしてはどうか。

A センターの名称はこれらの施設の総称をするものであり、条例名とは別にフロスカントリースキー場をケツパレランドと言っているような愛称については今後検討する。

Q 「堂前議員」 栗石銀河ステーションの指定管理は長年、町の第三セクターとして様々な事業を実施してきた(株)しずくいしの継続がふさわしいのではないか。

A (株)しずくいしが指定管理を行った平成21年度から令和3年度までの13年間

討論要旨

町債残額を大胆に減らすこと

反対
〔西田征洋議員〕

「ここ」数年来地方債残額の上昇が見られる。この状況が大胆に減らすことが求められる。また、14ヘクタールの跡地の再利用も不安定なものである。農業は、牛の飼養農家や米農家の収入減は相当な額になっている。水田活用の直接支払交付金の見直しにどう対処するのかについて町の支援や対応の姿勢が見えてこない。「いわて栗石アーチェリーセンター」は後年負担、借金払いになるので反対する。

アフターコロナの産業・観光の取り組みを評価

賛成
〔坂井尚樹議員〕

自主財源の増額など歳入確保を図り、若者の移住定住と結婚、出産、子育て支援、スポーツとアウトドアを核とした交流人口、関係人口の創出、地域経済活動を支える基盤強化と企業誘致の推進を評価する。「いわて栗石アーチェリーセンター」を含めた鶯宿温泉スポーツエリア拠点施設や長山地区を拠点としたアウトドア観光振興は大いに期待できる内容である。「他に大村昭東議員が賛成討論しました。」

指定管理

公の施設の指定管理者が決定

○栗石町児童館

特定非営利活動法人わらしやんど栗石(理事長 岩持斗季子)に継続(指定期間4年)



継続指定管理者による運営となった栗石町児童館



新しい指定管理者による運営が始まった栗石銀河ステーション

人事

盛岡広域環境組合議員を選出
坂下栄一 議員
岩持清美 議員

同意

副町長の選任に同意 適任であると答申

氏名：若林 武文氏(再任)
行政区(林)

○栗石銀河ステーション(観光物産センター、農林水産直売・食材提供供給施設及び広場、駐車場等)
㈱航和(代表取締役 佐々木航)に新規(指定期間4年)

議決結果等一覧

令和5年第1回雫石町議会定例会 | 議決結果等一覧 会期：2月28日(火)～3月20日(月)

議案等番号	件名	畠山 操	金子 一男	坂井 尚樹	徳田 幸男	岡本 忠美	古館 謙護	幅 秀哉	堂前 義信	横手 寿明	岩持 清美	杉澤 敏明	西田 征洋	大村 昭東	坂下 栄一	上野 三四二	議決結果
議案第1号	雫石町鶯宿温泉スポーツエリア拠点施設条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第2号	雫石町個人番号の利用等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第3号	雫石町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第10号	令和4年度雫石町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第11号	令和4年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第12号	令和4年度雫石町御明神財産区特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第14号	令和4年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第15号	令和4年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第17号	令和4年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第20号	令和5年度雫石町一般会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第21号	令和5年度雫石町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第22号	令和5年度雫石町御明神財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第23号	令和5年度雫石町簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案第24号	令和5年度雫石町介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第25号	令和5年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第27号	令和5年度雫石町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第31号	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第33号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(雫石銀河ステーション)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	可決
同意第1号	副町長の選任に関し同意を求めることについて	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

○・・・賛成 ●・・・反対 ※加藤議長は採決には加わりません。

☆その他の議案については、全議員が賛成いたしました。

ここが
聞きたい

一般質問

町政を問う

12 議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

12 ページ 感染症対策時の御明神地区の
受け入れ可能数が少ないのはなぜか

質問者／^{はたけやま} 畠山 ^{みさお} 操 議員



12 ページ 空き家等対策計画の成果は

質問者／^{どうぜん よしのぶ} 堂前義信 議員



12 ページ 価格高騰による追加の支援策は

質問者／^{さか い なお き} 坂井尚樹 議員



14 ページ 水田活用の直接支払交付金への
町の対応は

質問者／^{いわもち きよみ} 岩持清美 議員



14 ページ 中高生徒間交流の場を増やす、
新たな取り組みは

質問者／^{かね こ かずお} 金子一男 議員



14 ページ 令和 5 年度の予算編成方針は

質問者／^{すぎさわ としあき} 杉澤敏明 議員



16 ページ 人口減少への具体的構想は

質問者／^{おおむらしょうとう} 大村昭東 議員



16 ページ 第 2 子以降の保育料の無償化は

質問者／^{にしだ まさひろ} 西田征洋 議員



16 ページ 遊休農地の活用と
農地荒廃対策は

質問者／^{おかもとただみ} 岡本忠美 議員



18 ページ 御所ダム堆砂土の有効活用は

質問者／^{うわのみよじ} 上野三四二 議員



18 ページ ヤングケアラーの実態把握は

質問者／^{はば ひでや} 幅 秀哉 議員



18 ページ 少子化対策強化への支援策は

質問者／^{ふるだてけんご} 古舘謙護 議員



お風呂の水を常に溜めておくことも防災の一環になりますよ。

質問者／**畠山 操** 議員



感染症対策時の

御明神地区の

受け入れ可能数が少ないのはなぜか

町長 国の避難所運営ガイドラインを参考に算出している

Q 町地域防災計画で御明神地区の感染症対策時の避難受け入れ可能数が地区人口の30%である。他地区と比べて少ないのはなぜか。

A 避難所は、町の公共施設を指定している。感染症対応の国の避難所運営ガイド

観光地域づくり法人(DMO)、本登録されるが非常に不安だなぁ。

質問者／**堂前義信** 議員



空き家等対策

計画の成果は

町長 目標を達成し、今後

Q 町の空き家等対策計画は平成30年度から令和4年度までの計画期間だが、この5年間の町内空き家状況と成果は。

A 計画目標として5年間で5戸の不良住宅の除去、10戸の空き家等及びその跡地の活用としていた。令和5年2月末までの実績として5戸の不良住宅の除去、18戸の空き家等及びその跡地の活用がなされている。平成27年の調査から7年が経過し、町内空き家の軒数は増加していることから、今後も継続的な取り組みが必要と考えている。

農業生産費の上昇を価格転嫁できない農家へ支援の拡充を。

質問者／**坂井尚樹** 議員



価格高騰による

追加の支援策は

町長 補正予算により肥料、飼料高騰対策を実施

Q 価格高騰により追加の支援策を必要としている農家も少なくない。町の考えは。

A 飼料に係る支援として、国からの積立金による基金により実施される配合飼料価格安定制度のほか、県でも本制度で補てんできない畜産農家の負担増分についてさらなる独自支援を講じる方針である。JA新いわては価格高騰対策として、畜種ごとの支援が示された。町では、昨年9月の補正予算により肥料、飼料高騰対策を実施したが、引き

ドライインの国際基準を参考に、※スファイア基準や密集、密接防止の観点から、一人当たり専有面積を5平方メートルとして、施設の床面積から計算している。

※スファイア基準とは、被災者の権利と被災者支援の最低基準を定めた国際基準です。



段ボールベットは災害時に威力発揮

避難所の寒さ対策は

Q 避難所運営マニュアルで、厳冬期災害の場合、床からの冷気への配慮が必要であるが、対策はしているか。

A 厳冬期の対策として、ストーブ、発電機、毛布、段ボールベットの備蓄している。災害時に段ボールベットの供給を受け入れる物資提供協定を東北紙器株式会社と締結している。

離農の増加は

Q 農業経費の増加による所得減少や高齢化、後継者不足等の理由により離農増加が懸念されるがどうか。

A 昨今の肥料、飼料等の高騰については国レベルの対策が必要と考える。町としては堆肥の活用や飼料の町内生産等、生産コストの低減に取り組んでいく。また、親元で就農する若者や、新たに農業を始めようとする方々を関係機関、団体と連携し支援していく。

訪日外国人受け入れは

Q 訪日外国人（インバウンド）回復の兆しをどう捉え、町内観光振興を進めていくのか。

A 盛岡・八幡平広域観光推進協議会など関係団体と連携し観光誘客に努める。

また、多言語翻訳機械を観光関連事業者や飲食店へ貸し出すなど、受け入れ態勢を整えていく。



多言語翻訳機貸し出しでおもてなし

続き国や県などの支援策と併せて、農家が経営継続できるよう支援していく。

Q 農業の将来を見据えた対策をどのように講じていくか。

A 農業の省力化、効率化に向けた機械導入、小規模な水田整備、農業経営を改善するための農業簿記、高収益作物の導入などの支援を実施していく。

児童・生徒への防災教育は

Q 児童・生徒への防災教育は、どのような形で行われているのか。

A 小学校では、地域社会における災害や事故の防止について消防署などの施設見学や資料を活用して調べながら、人々の安全を守るための関係機関の働きや、従事している人々の様子を学んでいる。中学校では、災害発生を想定

した学校、家庭、地域等での日頃の備えについて考え、災害情報を受け取る手段や、地域とのつながりの大切さなどを学んでいる。



町内小学校で行われている防災教育

栗石の宝である地熱エネルギー。第3、第4の地熱発電所ができる事大いに期待。

質問者／岩持清美 議員



水田活用の直接支払交付金への町の対応は

町長 各地区公民館において制度説明を行った

Q 国は、水田の畑地化推進事業を打ち出した。令和5年度水田活用の直接支払交付金の変更点と町の対応は。

A 各地区公民館で、飼料用米の複数年契約、収量、品種に係る変更点、交付対象水田などについて制度説明を行った。

Q JAカントリーエレベーター利用料、土地改良区の水揚げポンプ利用料の見直しと対策は。

A JAカントリーエレベーターは、現時点で利用料の増額は示されていない。

万一、高校再編に該当し、町や地域に影響が出ては困る。

質問者／金子一男 議員



中高生徒間交流の場を増やす、新たな取り組みは

教育長 新たな取り組みはなかったが、少しずつ活動が回復してきている

Q 栗石中学校と栗石高校との間で、合同で行う学校行事など中高生徒間交流の場を増やす新たな取り組み状況は。

A 出前授業で中高相互の交流を通じて、お互いの理解を深めたほか、栗石高校見学会の開催、あいさつ運動など継続した取り組みを行っている。

また、栗石よしやれ祭りが3年ぶりに開催され、栗石中1年生が栗石高校郷土芸能委員会の生徒から指導をもらい、踊りを習得

栗石高校の良さを保護者の方々にも分かっていたきたいものです。

質問者／杉澤敏明 議員

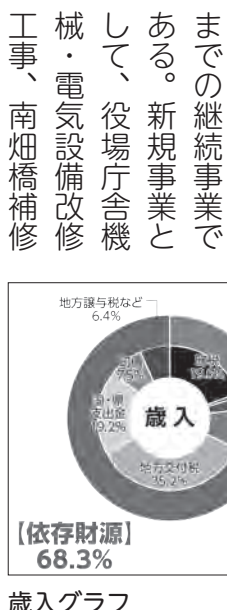


令和5年度の予算編成方針は

町長 コロナ対策や原油価格・物価高騰等に取り組む

Q アフターコロナを見据えた令和5年度予算案と見るが、新規事業も含め主なものは何か。

A 昇瀬橋の橋梁架け替え工事が令和5年度までの継続事業である。新規事業として、役場庁舎機械・電気設備改修工事、南畑橋補修



ポンプ利用料、電気料金の高騰に伴い、土地改良区の管内で複数の区域での値上げが見込まれている。土地改良区と連携し、対象となる農家と将来の水田活用を見据えた協議を行い、畑地化を含めた営農継続と農業収入の確保に向けた支援を行う。

新規地熱発電所開設の見通しは

Q 大松倉地熱発電計画の令和5年度工事概要と事業化への見通しは。

A 噴気試験、温泉モニタリング調査、平時の微小地震観測、環境事前調査、地質調査、測量調査を実施する予定。事業実施主体者に確認したところ、令和5年度行う各種調査の実施後にこれまでの調査結果をまとめ、事業化の判断を行うと報告を受けた。



新たな地熱発電に期待される大松倉の試験地

し、立派にパレードに参加できた。

新たな取り組みとして実施したものはなかったものの、これまでコロナ禍において思うように活動できなかったものが、少しずつ回復し、交流活動が行われている。



伝統を次代へ引き継ぐ
栗石高校の郷土芸能委員会

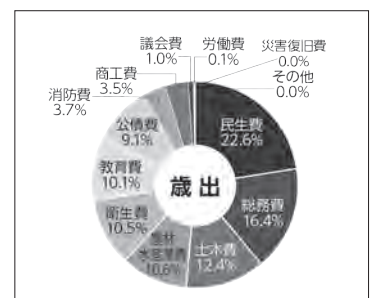
Q 中学生との部活動体験などの取り組み状況は。

A 栗石高校で行われた中学生の一日体験入学の際に、郷土芸能委員会による演舞を間近で鑑賞したほか、水上スポーツ体験を希望した生徒が御所湖でカヌーを体験した。高校には、中学校とは違った特色ある部活動があるので、機会があれば中学生が体験できる場を設けられるよう協議する。

Q 令和6年度から栗石高校コミュニティ・スクール導入の準備状況と今後の取り組みは。

A 令和5年度中に学校運営委員会の立ち上げを目指し取り組み予定である。町では、栗石高校将来ビジョンに掲げる「未来をつくる人材育成」のために、地域住民との連携につながるよう支援する。

工事、野菊ホール舞台機構設備改修工事、空き家等解体除去工事実施設計業務委託料などである。



歳出グラフ

栗石高校の魅力ある学校づくりの取り組みは

Q 今後魅力ある学校づくりをどう取り組むのか。

A 来年度に設置が見込まれる栗石高校コミュニティ・スクールによる、地域への浸透を支援するなど、選ばれる高校となるよう魅力づくりの発信に取り組む。

畑地化促進事業の取り組みは

Q 町では、畑地化促進事業をどう取り組むのか。

A 積極的に推進する事業ではないが、この事業を有効活用できる農家もあることから申し出のある農家に対して手続きを進めている。

科学的アプローチを取り入れた観光振興推進されたい。

質問者／大村昭東 議員



人口減少への具体的な構想は

町長 第2期まち・ひと・

しごと創生総合戦略策
で推進

Q 町の人口は、2040年には2015年比で、約65%まで減少する見込みである。人口減少と超高齢化が一層深刻さを増す。人口の急減に対処する具体的構想を持って、対応すべきだがどうか。

A 若者中心の移住定住、結婚・出産・子育て支援の推進や、スポーツ関連で交流人口・関係人口の拡大、企業誘致、健康づくりと地域ぐるみの学びの推進など第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略施策で人口減

乗石町の子育て支援策として保育料や給食費を無料化しては？

質問者／西田征洋 議員



第2子以降の保育料の無償化は

町長 県補助事業の詳細

を確認し実施

Q 第2子以降の保育料を無償化にすべきと思うがどうか。

A 県では令和5年度、新たに「いわて子育て応援保育料無償化事業費補助金」を



第2子以降の保育料無償化へ

もっとスポーツ選手育成に力を入れ、乗石から世界にはばたく子どもたちに期待。

質問者／岡本忠美 議員



遊休農地の活用と農地荒廃対策は

町長 省力化や効率化に支援

し農地の集積や集約化を促進

Q 遊休農地の活用対策と農地荒廃対策へみは。

A 令和8年度までに水田に水張りを行わなければ、水田活用の直接支払交付金の対象外となり離農に加え、遊休農



農家の作業省力化に繋がるドローン

少対策に取り組む。

候補DMOの取組状況は

Q 候補DMOが地域づくり法人登録となるための予算計上と取組みは。

A 観光協会への町の補助金は、人件費として900万円、国の補助金として1700万円を見込んでいます。交付金は広告宣伝事業費370万円、受け入れ対策事業費443万円、旅行業事業費387万円、計1200万円となっている。専門人材として、非常勤アドバイザーが一人設置された。

全農家参加型の組織、団体の形成は

Q プロジェクトの現実化と、栗石農業の将来に向け、全農家参加型の農業会、農業公社のような組織、団体を設置してはどうか。

A 農家を含めた地域計画、活性化計画は、国が定める人・農地プランに沿って進めている。



収穫を喜ぶ農家に

創設する予定となっている。町でも県事業の詳細を確認しながら、保護者の所得にかかわらず第2子以降の保育料の無償化を行っていく。

同性パートナーシップ制度の導入は

Q 同性パートナーシップ制度について、町も導入してはどうか。

A この制度は性別等にかかわらず、お互いを人生のパートナーとし、婚姻に相当する関係とみなされることにより、行政や民間事業者の各種サービスの利用要件の緩和につながるが期待されている。導入に向けては国の動向や、県内各自治体の導入状況を注視していく。

埋設ダイオキシンは

Q 埋設ダイオキシンの撤去について、どのような交渉をするか。

A 町が構成機関として参加している2, 4, 5-TC系除草剤埋設地問題協議会より撤去を前提とした恒久的な対策の早期実施を望む要望書を林野庁東北森林管理局に提出した。今後も優先的に撤去対象地に加えてもらおうよう交渉を進めていく。

地の拡大や農地の荒廃化も懸念される。機械導入や水田整備に係る事業等、農業の省力化や効率化に向けた支援と併せて農地集積や集約化の促進に一層努める。

Q 農地の集積、集約に関する方針と今後の取組みは。

A 集落営農の組織化に係る相談や多面的機能支払制度の組織化に関する相談などがあり、課題解決や地域農業の継続に向けた取り組みを支援している。さらに、令和2年度から籬野地区における水田の大区画化に向けた取り組みには、県事業による整備構想図の作成を進めている。

スポーツ環境と指導者の充実

Q スポーツ環境やスポーツ指導者の充実を図り、競技スポーツの向上に向けた支援は。

A 町スポーツ協会との共催でスポーツ少年団等をはじめとするスポーツ指導者の正しい知識習得を目的としたスポーツ医科学講座を令和4年度は2回開催し、指導者の人材育成に努めている。また町では、スキー選手への強化事業費補助、県民体育大会への選手派遣費補助、全国大会や東北大会への参加費助成等を行っている。

とにかく業務委託料多い。これでは自力がつかないよ。いかなものかなあ。

質問者／上野三二四二議員



御所ダム堆砂土の有効活用は

町長 実証試験の実施に向け協議を進めている

Q 有機物やミネラルを多量に含んだ堆砂土は、土壌改良や新たな生産物を作り出し農業再生の目玉になるようなネームバリュー性やブランド性を有していると思うが、有効活用する考えは。

A 農地の土壌改良に向けた活用を進め、南畑コーティングむらでの実証試験実施に向け、関係機関と協議を進めている。また、実証試験の結果が良好で土壌改良への利用が見込まれることとなれば、作業条件の悪い農地の改善や新たな作物の導入なども期待でき

ヤングケアラーの把握、実態詳細調査は教育委員会は健康子育て課？ 総合福祉課？

質問者／幅秀哉議員



ヤングケアラーの実態把握は

教育長 ヤングケアラーの疑いが認められる児童生徒はいない

Q 先の定例会でヤングケアラーの調査把握をすると答弁していたが調査結果と今後のフォローをどう考えているか。

A 昨年7月に町内各小学校5、6年生の児童と栗石中学校の全生徒を対象に調査を行った。お世話することがつらいと回答した児童生徒はいたが、過度な負担により学習に支障を来すようなヤングケア



実態把握が難しいヤングケアラー

残念なバス路線の廃止。もっと便利な田沢湖線に！

質問者／古館謙護議員



少子化対策強化への支援策は

町長 経済的支援に加え、子育て世帯への様々な取り組みを検討する

Q 町は、子育て支援の充実強化をどう進めるのか。

A 経済的支援の一環として、住宅子育て応援給付金や18歳までの医療費無償化、保育所の副食費無償化、小・中学校の給食費半額助成などで支援している。それに加え、今後共働き世帯へは、子育ての分かりやすい情報提供、相談窓口の充実や保育サービスの提供など支援について検討していく。

る。今後の農業政策と併せながら、活用策を検討していく。



土壌改良に有効な成分の含有が期待される御所湖の堆砂土

これからの地域づくりは

Q 地域活力・強化のため地域おこし協力隊、集落支援員の活動の現状と成果、波及性はどうか。

A 現在、地域づくりに携わっている地域おこし協力隊はいない。令和2年度から各地区公民館に、集落支援員を配置し、地域の特性に合った人材を育成するため、生涯学習事業を実施しているほか、庁舎内に配置している集落支援員とも連携しながら、地域の現状把握や地域住民の話し合いの支援等を行っている。

ラーの疑いが認められる児童生徒はいない。今後も小中学校と情報共有を図りヤングケアラーと疑われる児童生徒の早期発見に努める。

インバウンドの具体的な目標数値を設定しているか

Q インバウンドの新型コロナウイルス感染症拡大前の数値を踏まえ、5類へ引き下げ後の予想と具体的な目標数値の設定は。

A 今年に入ってから国内のインバウンドは回復ペースが加速している。4月から6月以降は中国人観光客が本格的に回復し始めると予想している。令和元年の外国人観光客の入り込み実績3万9000人回まで回復させることを当面の目標に、インバウンド誘客に取り組む。

部活動が地域移行に変更

Q 中学校の部活動が地域移行に変更になるが、どのように対処するのか。

A 部活動のあり方検討委員会において、協議を重ね、中学校や地域部活動の受け皿となり得る団体等と中学校の生徒にとって望ましい部活動のあり方を検討する。

感染症対策の取り組みは

Q 今後マスク着用は個人の判断が基本となるが町の小・中学校の対応は。

A 卒業式におけるマスクの取り扱いに関する基本的な考え方は児童生徒及び教職員については式典全体を通じてマスクを外すことを基本とする。ただし、校歌斉唱や複数の生徒による呼びかけはマスク着用など一定の感染症対策を行う。新学期におけるマスク着用の考え方は求めないことを基本とする。

JR田沢湖線の新駅開業に伴う町への影響は

Q 新駅「前潟駅」が開業し町への影響はどう捉えているか。

A 開業により上り便が増設されることから盛岡方面への通勤、通学が便利になることが期待される。また、前潟駅は、商業施設に隣接していることから買物など鉄道利用する町民の増加が見込まれる。



JR 田沢湖線新駅開業に伴い盛岡・雫石間の活性化に期待

総務産業常任委員会

[大村昭東委員長]

調査
1

進み出した空き家対策 鶯宿温泉空き旅館の現況と 今後の整備計画

3月8日、鶯宿温泉街の空き家の現況について現地調査を行いました。同空き家は2月に「特定空家」と認定され、今後の建物除却計画についての説明を受けました。その内容は、町が主体となって進める事業で、国庫補助事業を活用して解体するものです。また、建物除却後の土地については、関係者間で協議し、鶯宿温泉地域活性化に向け官民連携した具体的な方針を決定する旨について説明を受けました。

研修
1

八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期 成同盟会 関係市町議会議員研修会

2月10日、八幡平市のANAクラウンプラザリゾート安比高原で国土交通省東北地方整備局岩手河

川国道事務所所長及び湯沢河川国道事務所所長から八幡平山系に係る直轄砂防事業の令和5年度の事業計画が説明されました。これは秋田県駒ヶ岳の噴火により国道46号と秋田新幹線の交通途絶防止のため行われている事業で「シガクラ沢砂防堰堤」と「竜川第2砂防堰堤」を令和5年度中に完成する予定とのことでした。

説明会后には「2023火山砂防フォーラム」が今年10月19日から20日までの期間、本町で開催される旨報告を受けました。



事業説明を受ける関係市町議員

教育民生常任委員会

[堂前義信委員長]

調査
1

いわて雫石アーチェリーセンター オープンセレモニー

3月8日、生涯学習スポーツ課より、「いわて雫石アーチェリーセンターグランドオープン記念セレモニー」の実施計画について説明を受けました。4月29日「記念式典」「記念競技」「落成祝賀会」「交流イベント」で構成し、「記念式典」「落成祝賀会」はおよそ80人の出席を見込み、「記念競技」「交流イベント」は自由観覧として計画していることを確認しました。



オープンする「いわて雫石アーチェリーセンター」

調査
2

避難経路の確認と情報共有 避難行動要支援者の把握

3月8日、総合福祉課より、避難行動要支援者の

把握状況について聞き取り調査しました。民生委員を通じて対象者を把握し、地域コミュニティ組織で行われる「お互いさま情報交換会」で対象者の確認を行い避難経路の確認や情報共有が毎年行われていることを確認しました。



晴山公民館で行われたお互いさま情報交換会

調査
3

高齢者福祉 敬老事業の取り組み

3月8日、総合福祉課より、敬老事業の取り組みについて聞き取り調査しました。75歳以上の対象人数は2,989人、実施団体は35団体で、令和4年度より敬老会の見直しを行い、行政区等の団体へ助成金を交付する取り組みとして実施していることを確認しました。

広報広聴常任委員会

[古館謙護委員長]

視察対応 いんざい 千葉県印西市議会 議会だより編集委員会来町

1月17日、千葉県印西市議会議会だより編集委員会5名、事務局2名が来町し、議会広報「議会だより」作成時における編集体制(企画・構成等)について協議し、紙面づくりの工夫点や課題などを共有しました。

○令和5年1月11日、16日、19日

議会だより124号校正に係る編集会議を開催しました。

○令和5年1月26日

議会だより124号発行。

○令和5年2月28日

議会だより125号の編集日程及び閉会中の継続調査について協議しました。



視察に訪れた印西市議会だより編集委員会と情報共有

議会だより 令和4年度岩手県町村議会 広報コンクール奨励賞受賞

しずくいし議会だより第121号が奨励賞を受賞しました。町民の皆様に分かりやすく読んでいただくことを第一に考え編集してきた成果が表れたと思っています。これからも、より良い広報を作成していきます。ご協力いただいた方々に心より感謝申し上げます。



おかげさまで岩手県町村議会広報コンクール奨励賞受賞

議会運営委員会

[杉澤敏明委員長]

協議
1

議会モニター会議

2月3日に開催の議会モニター会議の意見等について協議、検討し、対応等の回答を取りまとめ、議員全員協議会に報告、協議後、3月1日にホームページに「議会モニター会議の意見等に係る回答」を掲載しました。



モニター意見一覧 詳細はコチラ →

協議
2

議員政治倫理条例 逐条解説の検討

令和3年12月13日制定の雫石町議会議員政治倫理条例の逐条解説について取り組み、検討を重ね、議員全員協議会に報告、協議後、令和5年3月1日策定となりました。

町村議会議長会表彰を受賞

この春、議会活動を通じて、地方自治の進展に大きな役割を果たした自治功労者として加藤議長、杉澤議員が全国町村議会議長会表彰(15年以上在職)を受賞、岩持議員が岩手県町村議会議長会表彰(11年以上在職)を受賞しました。



受賞した左から杉澤議員、加藤議長、岩持議員



ゆうき しげ
結城 繁さん (50歳・黒沢川)

雫石盆地が作り出す食材

岩手山をはじめ四方を山々に囲まれた雫石盆地を流れる葛根田川と雫石川の数多くの清流は、せわしない毎日から心身を開放してくれます。水は大地と結合し、おいしい食材を提供してくれます。いま畜産業は大変な時期、皆さん雫石牛や地場産品で食欲を満たし応援しましょう。生産者とお客様に感謝し「乾杯」。



くろさわ なおこ
黒沢 菜穂子さん (53歳・黒沢)

人と自然

町内産の食材を使った飲食店を始めて4月で10年になります。10年の間、たくさんの方々に助けていただきました。雫石の自然が育んだ食材にも。町外から訪れるお客様にとってこの自然が魅力的に映るようです。これらに感謝しながら次の10年を模索したいと思います。

VOICE
No.20

皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「しずくいしの宝物は？」です。



ひらこだ よしのり
平子田 由則さん (70歳・土橋)

地域住民の結束力

御明神地区は四季折々に繰り広がる大自然の美しさも宝物ですが、昨今少子高齢化が進む中、地域住民が自分たちの地域は自分たちで育て守ろう、自分たちで未来を作り上げていこう、という若い人たちから年配の人たちまで全員の結束力がこの地域の宝物です。



すぎさわ よしひろ
杉澤 良博さん (67歳・天戸)

森のしずく公園の静寂と眺望

駐車場から550段登ると森のしずく公園に到着です。春は新緑、夏は暑い日でも涼しく感じる木陰、秋は紅葉が見事です。また、広場から見える秀峰岩手山が美しいです。そしてこの森に静かに流れ続ける時間に合掌。



なかじま ゆきお
在京雫石町友会幹事 **中島 幸男**さん

ウォーキングとラジオ体操が日課

私は昭和20年御明神の中島行政区で生まれました。年を重ねると、会社生活の日々から解放されてかノスタルジー感が強くなります。私が幼少の頃は田植えの苗投げ等を手伝い、田植え後に行われる「早苗饗」で、はしゃぐのが好きでした。子供ながらに大人が酒を飲んで郷土料理を食べ踊る姿は楽しく印象深く記憶しています。早苗饗は田植えを無事に終えたことを神様に感謝し、人(田植え従事者)にも感謝し、宴が催されることです。(現在は田植えの機械化で結という共同作業の慣習も無くなっていると思われ)

ふるさとに帰省した時の思い出はたくさんあります。帰省の度に兄夫婦が餅をついて迎えてくれて嬉しかったことや、友と酒を飲んで二日酔いの朝、義姉が出してくれたみそ汁と水が大変美味しかったことが思い出されます。また、前雫石物産振興会会長の松田國男君が、雫石の居酒屋に皆を集めて同級会を開いてくれたこと、網張

温泉に雪の中風呂に入りに行った事等諸々ありますが、実家と取り巻く人々と友に感謝しています。

見るたびに表情を変えそびえる雄大な岩手山には胸を打たれます。帰省時は、故郷の山に向かっていうことなし…の詩の世界に幸せを感じ、また頑張る勇気をもらえます。現在の私の一日は朝のウォーキングとラジオ体操で始まります。ラジオ体操は相模原市の淵野辺公園で60～80代後半まで約80名の参加者で雨の日も365日実施しています。2022年夏にかんぽ生命全国ラジオ体操連盟より優良団体の表彰を受けました。私は指導員の認定をとり健康増進とチームワークの為に毎日行っています。



2022 ラジオ体操優良団体等表彰記念

御明神小学校ー御明神中学校ー山崎製パン(株)(武蔵野工場、横浜工場で27歳から管理職として勤務)ー(株)デイリーヤマザキ(本社・横浜事務所にて製品管理課、配送、営業、経理、60～72才まで嘱託で経理事務担当) 相模原市在住。



たかはし みつたけ
在京雫石町友会会員 **高橋 三丈**さん

ふるさと矢櫃の歴史と思い出

私は中学までの15年間しか町内に住んでいないがふるさとをこよなく愛する一人です。安庭小学校の校歌にあった…清い流れの矢櫃川…その川の上流の山間に23戸の集落があり、享和3年(1803)の記録にも矢櫃は19戸の営みがあった。古文書によると実家「大坪平」は享保10年(1726)に数百年過ぎた芳ヶ平から移り住んだとある。子どもの頃祖父から聞いた矢櫃の由縁は、八幡太郎義家が「桂」で矢の入った櫃をこの沢に捨てたからとのことです。

歴史は後三年の役(1089)で、源義家が志和稲荷を建立し戦勝を祈念し・滴石、仙北を目指し、七日休み(嵐で足止め)を超えて矢櫃川を下り、競り立った峡谷と二つの滝壺に差し掛かり、ここを「しばりの明神」、堀合神社を戦勝祈念で建立した。地名は須婆里と表していたが明治6年に矢櫃と訂正された。

昭和27年生まれ。安庭小学校ー御所中学校ー盛岡商業高校ー太陽銀行(現三井住友)ー(株)K S Sー(株)大起エンゼルヘルプー現在は介護福祉士として勤務中

昔は山を越えて、志和稲荷にお参りが年中行事であった。滴石と斯波(紫波)は深い関係にあり、義家が建立した志和稲荷、堀合神社は参拝者が絶えなかったのである。矢櫃川は古くは鮭、鱒の宝庫であり、イワナ、ヤマメ、アユ、うなぎなど清流ならではの豊かさであった。

小学校の頃は河原で石を積み、獲った魚で野外炊飯を楽しんだ。中学2年の時夏休みの宿題で友人4人とリヤカーでさらに上流に行き「つばけの滝」の笹藪に小屋を建て5日間の修行をした。夜中、ブヨ、蚊に襲われ顔手足を刺されながら苦勞し自然との触れ合いを学んだ。遙か古の時代、900年の時を超えて源氏の武士の魂に導かれた行動だったと思っている。(友人達のご冥福を祈るとともにこの文を捧げます)



親子4代で鎌倉鶴岡八幡宮にて

雫石町へようこそ

＼ ご縁があり、雫石町民になった ／

谷田貝 睦さん (41 歳) | 矢用 | ※栃木県宇都宮市出身

Q お二人の馴れ初めは？

A 知人の紹介で知り合いました。

Q 雫石町に暮らしてみて、いかがですか？

A 皆さん優しく、住みやすいです。

Q 町に望むことは？

A 子どもが4人いますが、子育て支援が手厚いので、もっと同世代の人達が雫石町へ引っ越してくれれば嬉しいです。



中央にあぐりさん (2 歳)、右に早耶香さん (旧姓 細川・37 歳)

なかよしシリーズ②

今月の
表紙

写真左から
長女 桜さん (8 歳)
次男 士さん (4 歳)
長男 丞さん (7 歳)



佐々木大さん、梓さん (中町一) のお子さん
虹の似合うまちの元気な3人きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

長女 桜さん (8 歳) : ブライダルプランナー
長男 丞さん (7 歳) : ユーチューバー
次男 士さん (4 歳) : 消防士

情報公開

● 議長交際費執行状況

【議長交際費とは】 【議長交際費内訳 (1月~3月)】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

月	葬祭費	お祝い、会費
1月	1件 22,000円	1件 3,000円
2月	0件 0円	3件 18,000円
3月	0件 0円	4件 20,000円
合計	1件 22,000円	8件 41,000円

※議会の動きはHPに掲載しています。

■ 編集デスク

新型コロナウイルス感染症の猛威も落ち着きを見せ始め、少しずつですが以前の日常に戻りつつある中、令和5年度がスタートしました。依然として物価高騰、電力・ガス・食料品等の値上げによる家計への負担は厳しさを増すばかりですが、町は地域経済の活性化に向けた取り組みを重点的に進めていくとのこと。令和5年度の予算も可決され、積極的な取り組みに期待が持てる予算となっています。これからも歩みを止めず、一步一步進んで行きましょう。

(広報広聴常任副委員長 坂井尚樹委員)

発行責任者(議長) / 加藤真純
編集委員長 / 古舘謙護
副委員長 / 坂井尚樹

編集委員 / 横手寿明・幅 秀哉
岡本忠美・徳田幸男
金子一男